

新種ツノシマクジラ記念セミナー  
～発見12年目に寄せて～

開 催 趣 旨

平成10年9月11日早朝、下関市豊北町（当時豊浦郡豊北町）角島の海士ヶ瀬において、1頭のヒゲクジラが漁船との衝突により死亡した。その後、五年間にわたる研究者らの調査・研究の結果、事故死した鯨が新種であることが確定し、ツノシマクジラと命名された。

二十一世紀に入り、巨大な哺乳動物の新種が発見されたことは驚くべき出来事であった。学術上、非常に意義あるこの発見は、同時に、角島の自然の豊かさの象徴として、さらには、観光資源として地元が大きく寄与してきている。

しかし、最近はこの意義ある発見の記憶も次第に薄れがちになってきている。そこで、事故死から12年目となる本年、今一度、ツノシマクジラの記憶を呼び起こし、ツノシマクジラをはじめとして、鯨と人間との関わりを顧みる場として、本セミナーを開催することとした。

鯨と深い関係を持ち続けてきた山口県下関市において、本セミナーが開催されることは意義あることと自負する次第である。

つのしま自然館  
館長 熊井清雄

豊北町自然観察指導員会  
会長 藤井憲男

# 新種ツノシマクジラ記念セミナー

～発見12年目に寄せて～

開催日時 2010年9月11日(土) 13時～16時

開催場所 つのしま自然館

〒759-5332 下関市豊北町角島893-1

TEL&FAX 083-786-0430

E-mail [tsunoshimakujira@ce.wakwak.com](mailto:tsunoshimakujira@ce.wakwak.com)



漁船と衝突死したツノシマクジラ 角島元山港に陸揚げされる (1998年9月11日早朝事故発生)

## 基調講演

演題「ツノシマクジラ発見への道」

和田志郎 ((独)水産総合研究センター中央水産研究所)

演題「山口県における鯨産業文化史と鯨をとり巻く最新事情

～下関からの視点で～」

岸本充弘 (下関市農林水産部水産課)

参加料金 500円(資料代として)

主催 つのしま自然館・豊北町自然観察指導員会

後援 山口県、下関市、角島振興協議会、角島漁業協同組合

豊北町観光協会

# 新種ツノシマクジラ記念セミナー ～発見12年目に寄せて～

開催日時 2010年9月11日(土) 13時～16時

開催場所 つのしま自然館(〒759-5332下関市豊北町角島893-1)

## プログラム

- 13:00 開会  
主催者挨拶 つのしま自然館 館長 熊井清雄
- 13:05 来賓紹介ならびに来賓挨拶
- 13:20 クジラ衝突事故再話  
証言者 和田宗紀(明吉丸船長)  
聞き手 小林知吉(豊北町自然観察指導員会 会員)
- 13:40 基調講演  
「ツノシマクジラ発見への道」  
和田志郎((独)水産総合研究センター中央水産研究所)
- 14:30 ★★★★★ 休憩 ★★★★★
- 14:40 基調講演  
「山口県における鯨産業文化史とクジラをとり巻く  
最新事情～下関からの視点で～」  
岸本充弘(下関市農林水産部水産課)
- 15:30 ★★★★★ 休憩 ★★★★★
- 15:40 質疑および情報交換
- 16:00 閉会  
主催者挨拶 豊北町自然観察指導員会 会長 藤井憲男